

宮城県感染症発生動向調査情報(第32週)

宮城県【平成25年08月15日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.8.5 ~ 8.11 ・ 第32週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	患者数	累計	第29週	第30週	第31週	第32週
水痘	3 0.60	5 0.50	2 0.40	1 0.50	3 1.00	4 0.80	1 0.50	8 0.31	27 0.47	2,446	◎→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		6 0.60	1 0.20		3 1.00	1 0.20	7 3.50	3 0.12	21 0.36	777	レ→	○→	○→	レ
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	13 2.60	12 1.20	4 0.80	13 6.50	13 4.33	3 0.60	3 1.50	49 1.65	104 1.79	11,809	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	42 8.40	68 6.80	62 12.40	13 6.50	9 3.00	19 3.80	21 10.50	124 4.77	358 6.17	1,427	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑	1 0.20	7 0.70					5 2.50	7 0.27	20 0.34	422	→	→	→	
突発性発しん	2 0.40	6 0.60	4 0.80	2 1.00	2 0.67	4 0.80	3 1.50	11 0.42	34 0.59	1,171	レ→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	25 5.00	47 4.70	19 3.80	11 5.50	10 3.33	32 6.40	16 8.00	54 2.08	214 3.69	1,167	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ	1 0.13							1 0.02	2 0.02	15,678	→	→	→	
咽頭結膜熱	2 0.40	1 0.10	3 0.60	1 0.50		2 0.40		16 0.62	25 0.43	622	レ→	→	→	○
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.08		109	→	→	→	
急性出血性結膜炎			1 1.00					1 0.08		13	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	8 0.80	1 0.20	1 0.50	7 2.33	17 3.40		19 0.73	58 1.00	3,520	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	3 3.00				9 9.00	3 0.60	17 1.42	625	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	6 0.60	2 0.40			6 1.20		17 0.65	32 0.55	406	→	→	○→	○
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	2		1	2	8			：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向			
	川崎病			1				2			【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							1	9					

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 女性2名
 - 大崎管内 男性1名(第31週)、男性2名、女性2名(第31週)、女性1名
 - 気仙沼管内 男性1名(第31週)、男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)
 - 仙台管内 女性1名
 - 腸管出血性大腸菌(O型不明)
 - 塩釜管内 男性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 塩釜管内 男性1名(第31週)、男性1名
 - 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 男性4名、女性2名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 石巻管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名
- 梅毒
 - 塩釜管内 男性1名(第31週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

宮城県感染症対策委員会情報解析部会

- 【流行性耳下腺炎】
気仙沼管内で警報継続中。
- 【手足口病】
仙南、塩釜、大崎、仙台管内で警報継続中。栗原、気仙沼管内で警報値を超えた。
- 【伝染性紅斑】
気仙沼管内で警報継続中。
- 【ヘルパンギーナ】
栗原、石巻管内で警報継続中。気仙沼管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

- ～保健環境センター～
ヘルパンギーナ患者より
石巻管内 第29週採取分 エンテロウイルス(型不明)遺伝子 1件
- ～仙台医療センターウイルスセンター～
第30週採取分 エンテロウイルス(型不明)遺伝子 1件
第31週採取分 (7.22～7.28) (7.29～8.4) (8.5～8.11)
第32週採取分
- RSウイルス 5件 2件
- ムンプスウイルス 0件 1件 0件
- アデノウイルス 0件 1件 1件
- エンテロウイルス 1件 0件 0件

【手足口病】

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行する。全国的に患者報告数が増加しており、県内でも仙南、塩釜、大崎、栗原、気仙沼、仙台管内で患者報告数が警報値を超えているので注意を要する。
宮城県は、8月8日に「手足口病の流行について」(注意喚起)を行っている。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
報告週												
2013年 第30週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
第31週	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第32週	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第30週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(1.72)、熊本県(0.05)、香川県(0.04)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1831例と第25週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加した。佐賀県(2.52)、広島県(1.17)、大分県(1.17)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は増加した。福井県(2.41)、富山県(2.10)、鳥取県(2.05)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。大分県(9.44)、茨城県(5.81)、宮崎県(5.72)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は増加した。和歌山県(1.52)、富山県(1.48)、大分県(1.22)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。埼玉県(18.42)、東京都(15.75)、香川県(14.45)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。宮城県(0.33)、新潟県(0.33)、富山県(0.24)が多い。**百日咳:** 定点当たり報告数は増加した。高知県(0.10)、福井県(0.09)、山形県(0.07)、兵庫県(0.07)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。高知県(8.93)、山形県(6.33)、新潟県(6.20)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は横ばいであった。福井県(1.32)、福岡県(0.77)、福島県(0.76)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は増加した。富山県(1.40)、岡山県(1.40)、宮城県(1.33)が多い。

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県: 51定点 仙台市: 42定点 合計: 93定点